

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦		仙台市民球場		2時間 10分				打安点盗犠四三残失併									
盛岡大附	0 0 1	0 0 1	1 0 1	4		【盛】	29	5	4	1	1	5	9	4	2	0	
仙台育英	0 0 3	2 1 1	0 0 x	7		【仙】	29	9	5	3	2	3	3	3	0	2	
(球) 武田 徹 (-) 布田秀斗 (二) 新野祥平 (三) 西城皇祐						▽本塁打		船生, 中沢(盛)									
【盛】 武石, 川中, 小野寺		— 吉田				▽三塁打		なし									
【仙】 小林, 斎藤, 田中		— 尾形				▽二塁打		大里								(盛)	
▽暴投 武石1(盛), 斎藤1(仙)		▽捕逸 なし						尾形								(仙)	

【評】

両先発が立ち上がり良く、2回まで両チーム無得点。3回表、盛岡大付は四球の走者を置いて9番大里がライト越えに先制タイムリーツーベースを放つ。3回裏、仙台育英は1アウトから9番橋本が初ヒットで出塁すると盗塁と捕手の悪送球、ワイルドピッチで同点。その後、3番岡田、4番遠藤の連続タイムリーで1対3と逆転する。仙台育英は機動力を絡めながら勝負強い打撃で追加点を重ね5回を終わって1対6とリードを広げる。

盛岡大付は6回に3番船生のソロホームラン、7回には4番中沢のソロホームランで反撃するが4対7で仙台育英が準々決勝へ進出した。

2回戦		仙台市民球場		2時間 51分				打安点盗犠四三残失併									
鶴岡東	0 0 0	0 0 0	2 0 0	2		【鶴】	34	8	1	0	1	5	10	11	1	0	
青森山田	0 0 0	0 1 0	0 0 2x	3		【青】	29	6	2	3	4	9	9	13	2	1	
(球) 佐藤 圭 (-) 加藤正弘 (二) 森山宏則 (三) 福田好伸						▽本塁打		なし									
【鶴】 矢部, 佐藤一		— 土屋				▽三塁打		なし									
【青】 堀内, 相馬, 山村		— 衛藤, 鈴木				▽二塁打		なし								(鶴)	
▽暴投 矢部1(鶴), 堀内1(青)		▽捕逸 なし						久永								(青)	

【評】

両チーム投手の粘投により、接戦となった第2試合は相手投手の暴投で5回裏に1点を先制した青森山田であったが、粘り強さを見せる、鶴岡東が7回表2アウト満塁から、4番前田の適時内野安打と敵失策で逆転に成功した。

2-1とリードを許した青森山田は9回裏の最終回、1番佐々木・2番久永の連打で好機を作り犠打と四球で1アウト満塁とし6番山田への死球で同点、7番向中野のライト犠飛で2時間51分の激戦にサヨナラ勝ちを収めた。

2回戦		仙台市民球場		1時間 28分				打安点盗犠四三残失併									
能代松陽	2 3 0	6 0	11		【能】	28	12	11	7	1	5	1	8	0	0		
久慈東	0 0 0	0 0	0		【久】	20	5	0	1	0	1	7	6	2	0		
(球) 毛利 晃 (-) 野田 学 (二) 浅野雅訓 (三) 山下大輔				(5回コールド)		▽本塁打		なし									
【能】 三浦, 森岡		— 田中				▽三塁打		なし									
【久】 高橋, 玉沢, 浅水		— 谷地中				▽二塁打		田中, 紀本								(能)	
▽暴投 森岡1(能)		▽捕逸 なし						笠嶋								(久)	

【評】

序盤から巧打と足を絡めた積極的な攻撃で終始ゲームを支配した能代松陽が公立校対決を5回コールドで制した。投球をしたエース三浦を中心としたテンポの良い守備も安定していた。

久慈東は先発高橋が初回2アウトから先制を許し、その後も継投でなんとか流れを呼び込もうとしたが、5回3投手で5四球と制球に苦しみ、能代松陽の勢いを止めることができなかった。

2回戦	石巻市民球場	2時間	1分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
花巻東	0 0 0	5 0 6		11	【花】	25	10	11	1	3	9	4	8	0	1
東日本昌平	0 0 0	0 1 0		1	【東】	19	4	1	0	3	2	2	5	0	0
(球)	山館浩樹 (一)	高橋弥寿仁 (二)	手塚仁基 (三)	松浦茂樹	▽本塁打	佐々木麟 (花巻東)									
【花】	工藤, 萬谷	—	田代	—	▽三塁打	千葉 (花巻東)									
【東】	鈴木, 草野	—	神山	—	▽二塁打	なし (花)									
▽暴投	草野2 (昌平)	▽捕逸			なし	なし (東)									

【評】
 ライトからレフトへの強風の中、先制したのは花巻東。4回表四死球で1死満塁とし、1番宮澤のライト前ヒットで2点を先制。犠飛と3番佐々木麟の左中間への2点HRで3点を追加し、5点を挙げ主導権を握った。その後6回にも連打で小刻みに6点を追加し、試合を決めた。
 一方、昌平は5回に内野ゴロの間に1点を挙げたが、工藤・萬谷の両投手に抑えられ、11対1の6回コールドで花巻東がベスト8に進出した。

2回戦	石巻市民球場	2時間	8分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
山形中央	0 1 0	0 4 1		7	【山】	38	13	5	3	4	1	6	9	2	1
東北	0 0 0	0 0 0		2	【東】	33	7	0	0	1	0	5	5	3	0
(球)	大槻充夫 (一)	安部吉彦 (二)	小松宗夫 (三)	邊見豪志	▽本塁打	なし									
【山】	瀬野, 武田	—	秋場	—	▽三塁打	高木 (山形)									
【東】	小倉, 高野, ハップス	—	生方	—	▽二塁打	武田 (山)									
▽暴投	小倉1, ハップス1 (東北)	▽捕逸			なし	尾塩 (東)									

【評】
 山形中央高校は序盤から積極的な攻めを仕掛けて2回に1点を先制した。その後も5回に4連打と犠打を絡めて点数を重ねて4点を挙げた。また、重盗による得点など攻撃の手を緩めることがなかった。
 東北高校も無死から何度もランナーを出したが相手投手を攻めきれず2点に終わった。山形中央高校の先発瀬野君、抑えの武田君の丁寧に打たせてとるピッチングが光り、見事ベスト8進出を決めた。

2回戦	石巻市民球場	2時間	11分			打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
東奥義塾	0 0 0	0 0 1		2	【東】	32	8	2	0	2	4	7	9	1	1
聖光学院	0 0 0	0 1 0		3	【聖】	26	5	2	0	3	2	6	4	0	0
(球)	加藤修一 (一)	菅原 久 (二)	西山 充 (三)	佐々木瞭太	▽本塁打	なし									
【東】	角田	—	後藤	—	▽三塁打	中田歩(東)安田(聖)									
【聖】	佐山	—	山浅	—	▽二塁打	今泉, 後藤2, 高田 (東)									
▽暴投	角田1(東)	▽捕逸			なし	三好 (聖)									

【評】
 福島第1代表の聖光学院と青森第3代表の東奥義塾の試合は1点を争う好ゲームとなった。
 同点の7回東奥義塾は1番高田、2番中田の連続長打で勝ち越しに成功。
 しかし、その裏聖光学院は4番三好の2塁打を足掛かりに6番嶋田のスライズで同点、8番高田のレフト前ヒットで逆転に成功した。8・9回の東奥義塾の攻撃を三者凡退に抑え、聖光学院が3-2で勝利。聖光学院の先発佐山は8安打されながらも要所を抑え143球完投。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦 盛岡大附 仙台市民球場 2時間 10分

盛岡大附	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	4
仙台育英	0	0	3	2	1	1	0	0	0	x	7

【盛】	打	安	点	盗	犠	四	三	残	失	併
【盛】	29	5	4	1	1	5	9	4	2	0
【仙】	29	9	5	3	2	3	3	3	0	2

(球) 武田 徹 (一) 布田秀斗 (二) 新野祥平 (三) 西城皇祐
 【盛】 武石, 川中, 小野寺 二 吉田
 【仙】 小林, 斎藤, 田中 二 尾形
 ▽暴投 武石1(盛), 斎藤1(仙) ▽捕逸 なし

▽本塁打 船生, 中沢(盛)
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 大里 (盛) 尾形 (仙)

【盛岡大附】		打数	安打	打点
(一)	佐藤 洋輔	4	1	0
(遊)	伊藤 新太	4	0	0
(中)	船生 裕斗	3	1	1
(左)	中沢 舟汰	4	1	1
(二)	斐田 由庵	3	0	0
(右)	今野 悟	3	1	0
(捕)	吉田 羅	2	0	0
(投)	武石 圭哉	1	0	0
打	今村 滯朋	1	0	0
投	川中 翔斗	0	0	0
打	高橋 佳大	0	0	1
投	小野寺 琉希	0	0	0
打	高橋 亜健	1	0	0
(二)	大里 侑平	3	1	1

【仙台育英】		打数	安打	打点
(一)	秋 元 響	4	1	1
(左)	齋藤 陽	3	1	0
(一)	岡田 大成	3	2	1
(右)	遠藤 太胡	3	1	2
(二)	洞口 優人	3	0	0
(捕)	尾形 樹人	4	2	0
(遊)	山田 脩也	4	1	0
(投)	小林 寛大	0	0	0
打	梶 威人	1	0	0
投	斎藤 容	2	0	0
投	田中 優飛	0	0	0
(中)	橋本 航河	2	1	1
中	藤井 一太	0	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
武石 圭哉	15	81	4	0	6	0	1	0	2	2	5
川中 翔斗	8	37	2	0	3	0	0	1	0	0	2
小野寺 琉希	6	19	2	0	0	0	0	1	0	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	死球	暴投	バント	失点	自責点
小林 寛大	10	35	3	0	2	0	0	0	2	1	1
斎藤 容	15	74	5	0	1	1	0	1	7	2	2
田中 優飛	4	22	1	0	2	1	0	0	0	1	1

【評】

両先発が立ち上がり良く、2回まで両チーム無得点。3回表、盛岡大付は四球の走者を置いて9番大里がライト越えに先制タイムリーツーベースを放つ。3回裏、仙台育英は1アウトから9番橋本が初ヒットで出塁すると盗塁と捕手の悪送球、ワイルドピッチで同点。その後、3番岡田、4番遠藤の連続タイムリーで1対3と逆転する。仙台育英は機動力を絡めながら勝負強い打撃で追加点を重ね5回を終わって1対6とリードを広げる。

盛岡大付は6回に3番船生のソロホームラン、7回には4番中沢のソロホームランで反撃するが4対7で仙台育英が準々決勝へ進出した。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦 仙台市民球場 1時間 28分
 能代 松陽 2 3 0 6 0 | 11 | 0
 久慈 東 0 0 0 0 0 | 0 | 0
 【能】 28 12 11 7 1 5 1 8 0 0
 【久】 20 5 0 1 0 1 7 6 2 0
 (球) 毛利 晃 (一) 野田 学 (二) 浅野雅訓 (三) 山下大輔
 【能】 三浦, 森岡 (二) 田中
 【久】 高橋, 玉沢, 浅水 二 谷地中
 ▽暴投 森岡1(能) ▽捕逸 なし
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 田中, 紀本 (能) 笠嶋 (久)

【能代松陽】	打数	安打	打点
(二) 大高 有生	2	1	1
(中) 淡路 建司	4	1	0
右 浅利 一輝	0	0	0
(捕) 田中 元輝	4	2	3
(左) 加賀谷 恭	3	2	1
走左 佐藤 大	0	0	0
(二) 相澤 海大	3	0	0
(投) 三浦 凌輔	2	1	1
打二 齋藤 舜介	1	1	0
(右) 中 紀本 知希	4	1	3
(一) 梶澤 心文	3	2	1
投 森岡 大智	0	0	0
(遊) 保坂 大悟	2	1	1

【久慈東】	打数	安打	打点
(三) 川端 海輝	3	2	0
(右) 山形 海渡	3	0	0
(捕) 谷地中 豊生	3	0	0
(一) 村上 琉紀	2	0	0
(投) 高橋 桜介	1	0	0
投 玉沢 聖也	0	0	0
投 浅水 琉夢	1	1	0
(左) 笠嶋 勇登	2	2	0
(遊) 谷崎 佑成	2	0	0
(二) 龍石 潤綾	1	0	0
二 谷地 瑞輝也	1	0	0
(中) 乱場 瑛仁	1	0	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	四球	死球	暴投	バント	失点	自責点
三浦 凌輔	16	56	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0
森岡 大智	4	28	1	0	1	0	0	3	1	0	1	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	四球	三振	四球	死球	暴投	バント	失点	自責点
高橋 桜介	12	54	2	0	5	0	1	0	0	1	0	5
玉沢 聖也	9	45	1	2	4	0	0	1	3	0	0	6
浅水 琉夢	7	25	1	1	3	0	0	0	1	0	0	0

【評】
 序盤から巧打と足を絡めた積極的な攻撃で終始ゲームを支配した能代松陽が公立校対決を5回コールドで制した。投球をしたエース三浦を中心としたテンポの良い守備も安定していた。
 久慈東は先発高橋が初回2アウトから先制を許し、その後も継投でなんとか流れを呼び込もうとしたが、5回3投手で5四球と制球に苦しみ、能代松陽の勢いを止めることができなかった。

第74回秋季東北地区高等学校野球大会

□大会第2日目 10月21日(木)

2回戦 石巻市民球場 2時間 11分
 東奥義塾 0 0 0 0 0 1 1 0 0 0 2
 聖光学院 0 0 0 0 0 1 0 2 0 X 3

【東】 打安点盗犠四三残失併
 32 8 2 0 2 4 7 9 1 1
 【聖】 26 5 2 0 3 2 6 4 0 0

(球) 加藤修一 (一) 菅原久 (二) 西山充 (三) 佐々木瞭太 (16:25点灯[右]遠見剛志[左]松浦茂樹)
 【東】 角田 二 後藤
 【聖】 佐山 二 山浅
 ▽暴投 角田1(東) ▽捕逸 なし
 ▽本塁打 なし
 ▽三塁打 中田歩(東)安田(聖)
 ▽二塁打 今泉,後藤2,高田(東)三好(聖)

【東奥義塾】		打数	安打	打点
(左)右	高田知希	5	2	0
(三)	中田歩夢	4	1	1
(投)	角田楓斗	3	0	0
(一)	今泉温友	3	1	0
(遊)	福士大翔	3	1	0
(中)	工藤有寿	3	0	0
(捕)	後藤大潤	3	2	1
(右)	木村駿介	2	0	0
打石	原田祥吾	2	1	0
(二)	高嶋叶夢	4	0	0

【聖光学院】		打数	安打	打点
(遊)	赤堀颯	3	0	0
(三)	生田目陽	4	1	0
(捕)	山浅龍之介	4	0	0
(右)	三好元氣	4	1	0
(中)	安田淳平	2	1	0
(左)	嶋田裕真	2	0	1
(一)	伊藤遥音	2	0	0
(二)	高中一樹	2	1	1
(投)	佐山未来	3	1	0

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点	
角田楓斗	26	124	8	0	5	0	3	0	6	1	1	1	0	3	2

投手名	打数	投球数	ストライク	ボール	被安打	被本塁打	犠打	三振	四球	死球	暴投	ノーアウト	失点	自責点	
佐山未来	32	143	9	0	8	0	2	0	7	2	2	0	0	2	2

【評】 福島第1代表の聖光学院と青森第3代表の東奥義塾の試合は1点を争う好ゲームとなった。同点の7回東奥義塾は1番高田、2番中田の連続長打で勝ち越しに成功。しかし、その裏聖光学院は4番三好の2塁打を足掛かりに6番嶋田のスライズで同点、8番高中のレフト前ヒットで逆転に成功した。8・9回の東奥義塾の攻撃を三者凡退に抑え、聖光学院が3-2で勝利。聖光学院の先発佐山は8安打されながらも要所を抑え143球完投。